

7月1日から登戸駅前広場の利用を開始します！ ～駅前広場の愛称を「のぼりっとガーデン」に決定しました～

川崎市多摩区の登戸駅前広場において、整備を進めていたロータリーや植栽等の整備が完了し、令和8年7月1日（水）から駅前広場の利用を開始します。

登戸駅前広場は、令和5年10月から路線バスやタクシーだけでなく様々な移動手段が使いやすい駅前空間づくりや、生田緑地の玄関口にふさわしい駅前の「おもてなし空間」の創出に向け、駅前広場としては市内初の「レインガーデン」を含む、豊かな植栽とガーデン灯やベンチといったファニチャーなどを設置し、憩いを感じる空間形成を進めてきました。

今回の利用開始に合わせ、広場整備に込めた川崎市の思いを示すため、駅前広場の愛称を「のぼりっとガーデン」に決定しました。

1 駅前広場の整備概要

（1）様々な移動手段が使いやすい駅前空間づくり

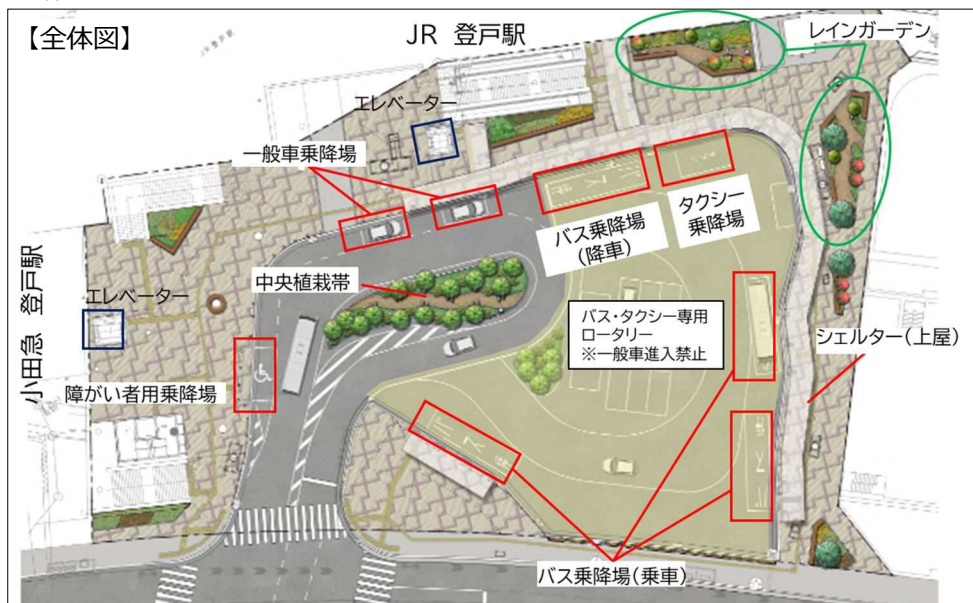
バスやタクシー、電車等といった公共交通機関や自家用車など、様々な移動手段に乗換えがしやすいような整備を行いました。

①乗降場

公共交通であるバス、タクシーの乗降場と、一般車・障がい者用乗降場を分けることで、安全に配慮した配置としました。また、障がい者用乗降場やユニバーサルデザインタクシーに対応した乗降場を使いやすい位置に配置し、誰もが安心して利用できる環境づくりに配慮しました。

②シェルター（上屋）

駅と連続したシェルターにより、乗換えの利便性を向上させるとともに、上部には太陽光パネルを設置し、環境にも配慮しました。



※一般車乗降場は乗り降り専用スペースです。車両の待機はできません。
※駅前広場内の歩行空間は自転車押し歩きです。
※バス・タクシー専用ロータリー内は一般車進入禁止です。

バス乗降場	4か所 (乗車3、降車1)
タクシー乗降場	1か所 (ユニバーサルデザインタクシー対応)
障がい者用乗降場	車両1台分
一般車乗降場	車両2台分

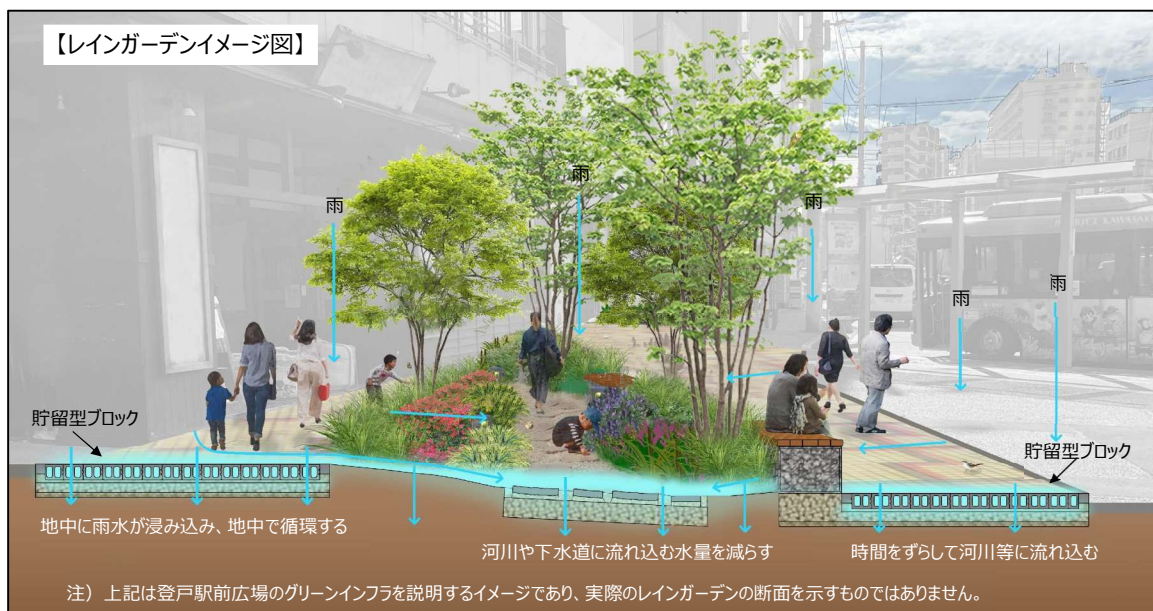
(2) 憩いを感じる空間形成

生田緑地の玄関口として、その豊かな自然環境を感じられるよう、みどりあふれる空間づくりを行い、来訪者をやさしく迎え入れる環境を整備しました。また、持続可能な循環型社会の実現に向けて、グリーンインフラ（自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用する考え方）としての取組や、脱炭素に配慮した次のような整備を行いました。

① 駅前広場としては市内初のレインガーデン

レインガーデンとは、歩道に降った雨水を植栽帯や砂利層に一時的に貯めて、ゆっくり地下に浸透させる緑地であり、下水道に一度に多くの雨水が流れ込むことや、歩道・車道の浸水を抑制することができます。

駅前広場では、レインガーデンの周囲にベンチを配置することで、利用者がみどりの中に憩いを感じる滞留空間を創出しました。



※貯留型ブロック

集中豪雨等の流域対策に資する雨水の地下貯留機能を備えるため、地下浸透させて循環を図るブロックを、駅前広場の一部に本市で初めて導入します。

② 中央植栽帯

中央植栽帯には、流れを感じさせる砂利や石柱、切り石などを配置し、ペDESTリアンデッキからの眺めにも配慮した趣のある空間を創出しました。



2 駅前広場の愛称について

広場整備に込めた川崎市からの思いを示すため、愛称をつけることにしました。

これまで整備等に携わってきた市職員を中心に愛称を検討し、「登戸の一步先をひらく、ホッと一息つける、ちょっと立ち寄りたくなる、軽やかに親しみやすい駅前広場」となるよう思いを込めて、「**のぼりっとガーデン**」としました。

「のぼりっとガーデン」は、地名の「のぼりと」と、心身のリフレッシュを意味する「リトリート」という言葉を合わせ、親しみやすく「のぼりっと」とし、みどりあふれる空間としての広場を大きな庭と捉えた「ガーデン」という言葉を組み合わせました。

今後、現地への看板設置などにより、愛称が利用者に親しまれるよう周知してまいります。

【問合せ先】

■ 整備に関すること

川崎市まちづくり局登戸区画整理事務所 小峰
電話 044-933-8581 (外線のみ)

■ 愛称に関すること

川崎市まちづくり局登戸区画整理事務所 伊藤
電話 044-933-8511 (外線のみ)